SystemGear

All Products For Build Up System

ＰＤＣ－０１８取扱説明書

日本システム開発株式会社

Nippon Systems Development Co., Ltd.

目　次

１　概要 …… 1

２　パラメータセッティングの流れ …… 2

３　スキャナ接続方法 …… 3

４　設定パラメータ

4.1　通信条件

先頭コード …… 5
後頭コード …… 6

4.2　キーボードＩ／Ｆ設定

(1)ＰＣ設定 …… 8
(2)国別設定 …… 8
(3)コードページ …… 9
(4)文字間ディレイ …… 9
(5)キーコードセットの設定 …… 11
(6)使用ＣＡＰＳ状態 …… 11

4.3　シンボル種別コードおよび読み取り
データ桁数の付加

シンボル種別コード …… 12
種別コード付加位置 …… 12
シンボル種別コードの設定 …… 13
EAN および UPC 以外のシンボルのデータ桁数 …… 13

4.4　各バーコードシンボル別のオプション

ＥＡＮおよびＵＰＣの読み取り …… 14
ＵＰＣ－Ａのデータフォーマット …… 15
ＵＰＣ－Ｅのデータフォーマット …… 16
ＮＷ－７ …… 17
ＣＯＤＥ３９ …… 19
Interleaved 2 of 5（ＩＴＦ） …… 21
Industrial 2 of 5（ＳＴＦ） …… 23
ＣＯＤＥ９３ …… 25
ＣＯＤＥ１２８ …… 26
チェックデジット送信の設定 …… 27

4.5　ブザーとＬＥＤの制御

読み取り確認ブザー …… 29
読み取りＬＥＤ …… 29
読み取り確認ブザー・ＬＥＤの動作
タイミング …… 29
読み取りデータ送信エラー時のブザー …… 30
ブザー音階調整 …… 30

4.6　スイッチモードの設定 …… 31

５　シンボル種別コード表 …… 33

６　１６進表 …… 35

７　任意データコード表 …… 37

８　トラブルシューティング …… 39

９　テストラベル …… 45

10　お問い合わせは …… 47

安全上のご注意　（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」です。

⚠ 注意

電源は正しく接続すること。

電源の極性を誤りますと発火、発煙などの恐れがあります。また、場合によっては爆発音が発生することがあります。

定格電圧以上の電圧を印加して使用しないこと。

発火・発煙の恐れがあります。

禁止

分解しないこと。

ショートや発熱により、感電ややけどする恐れがあります。

分解禁止

製品を水に濡らさないこと。

ショートや発熱により、感電や製品が故障する恐れがあります。

水場使用禁　止

製品仕様

1.電気的特性

1.1 入力電源電圧

ＤＣ＋5Ｖ ±0.25Ｖ

1.2 消費電流

動作状態　：　MAX　200mA

（入力電源電圧 ＤＣ＋5Ｖ時）

1.3 突入電流（スキャナプラグイン時）

突入電流　：　MAX 0.5A

（入力電源電圧ＤＣ＋5Ｖ時）

2.環境条件

2.1 動作温度　：　0℃～40℃

2.2 保存温度　：　-20℃～60℃

2.3 動作湿度　：　10%～90%ＲＨ（非結露）

2.4 保存湿度　：　5%～95%ＲＨ（非結露）

2.5 外乱光　　：　10000 lx 以下

2.6 静電気耐力：　8kＶ誤動作なきこと、

10kＶ破損なきこと

（試験条件：150pＦ、330Ω）

3.読取仕様

3.1 読み取り幅および分解能

最大読み取り幅	65mm(左右マージン含む)
分解能	
・WPC ﾓｼﾞｭｰﾙ寸法	0.8～1.8 倍
・NW-7, ITF, STF, CODE39	0.125mm
・CODE93, CODE128	0.15mm

3.2 ＰＣＳ値

0.45 以上（波長 635nm）←ＷＰＣシンボル

0.75 以上（波長 635nm）←産業用シンボル

1. 概　要

ＰＤＣ－０１８シリーズは、通信条件や読み取りデータ送信フォーマットおよび各バーコードシンボル毎の読み取り条件を、バーコードを読み取ることで設定できます。

スキャナの電源ＯＮ後パラメータ設定モード起動用特殊バーコードを読み取ると、スキャナはパラメータ設定モードで動作します。パラメータ設定モードでは、ＮＷ－７、７桁のバーコードにて、各種のパラメータを設定します。

設定されたパラメータは“設定終了コード”を読み取ることによって不揮発性メモリー（ＥＥＰＲＯＭ）に記憶され、電源ＯＦＦ後も保持されます。

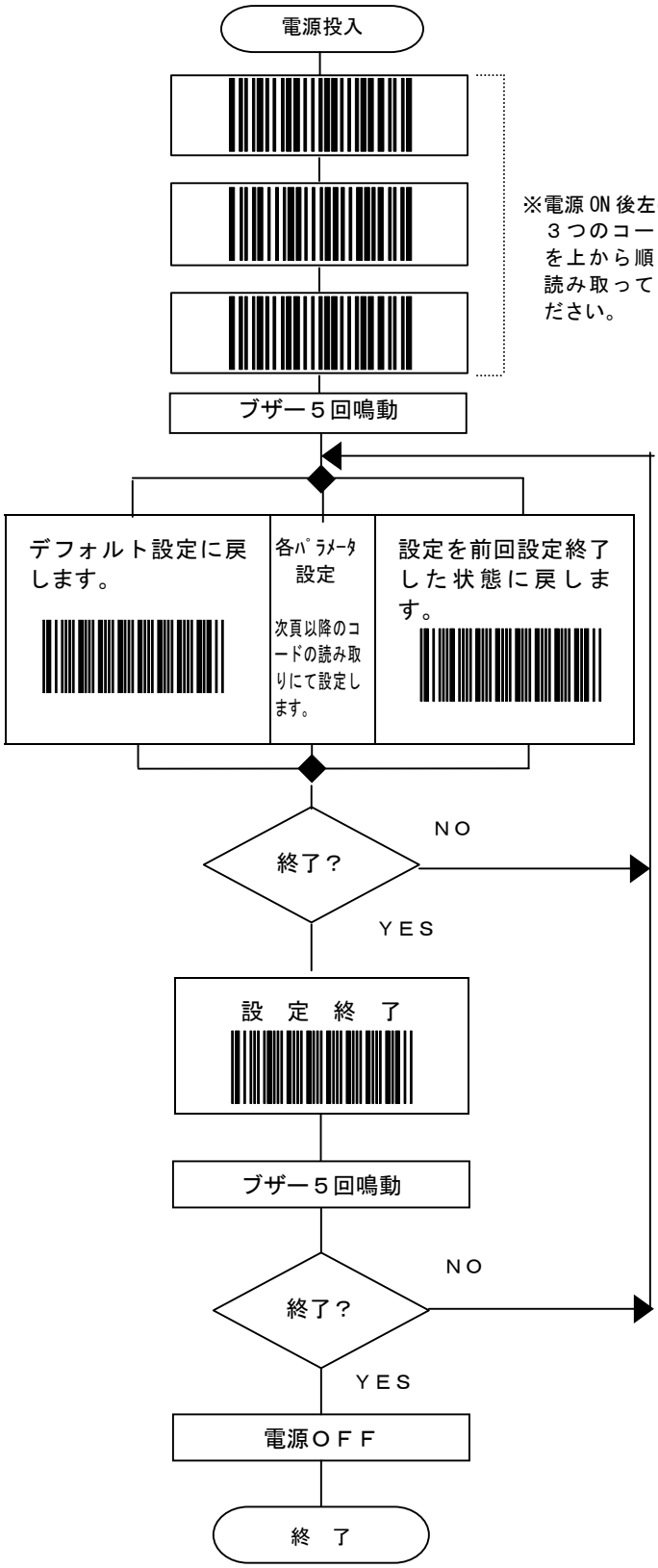
パラメータ設定モードの解除は、一度電源をＯＦＦするか、パラメータ設定モードで使用しているＮＷ－７、７桁以外のバーコードの読み取りで行われます。

注意

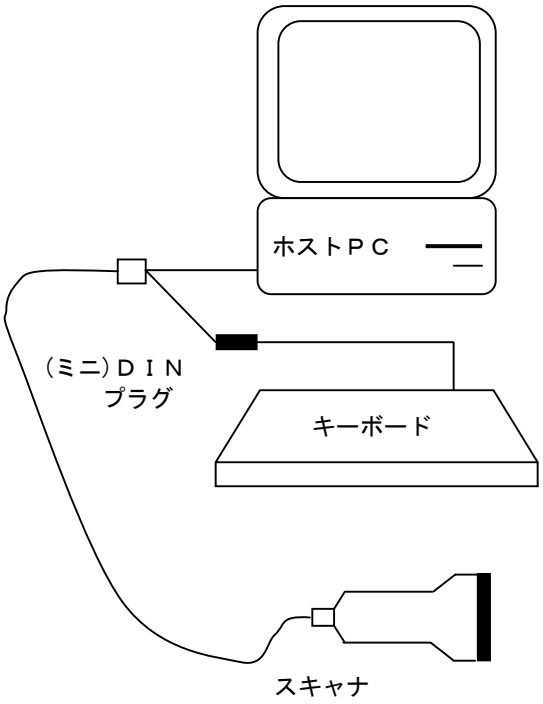
カナモードではデータを正常に送信できません。
スキャナ使用時は英数モードでご使用ください。

スキャナの読み取り動作とキーボードの操作を同時に行わないでください。キーを押した状態でスキャナを使用しないでください。“Ａｌｔ，ＳＨＩＦＴ，ＣＴＲＬ”キーが押されていると正しいデータが送信できません。

2. パラメータセッティングの流れ



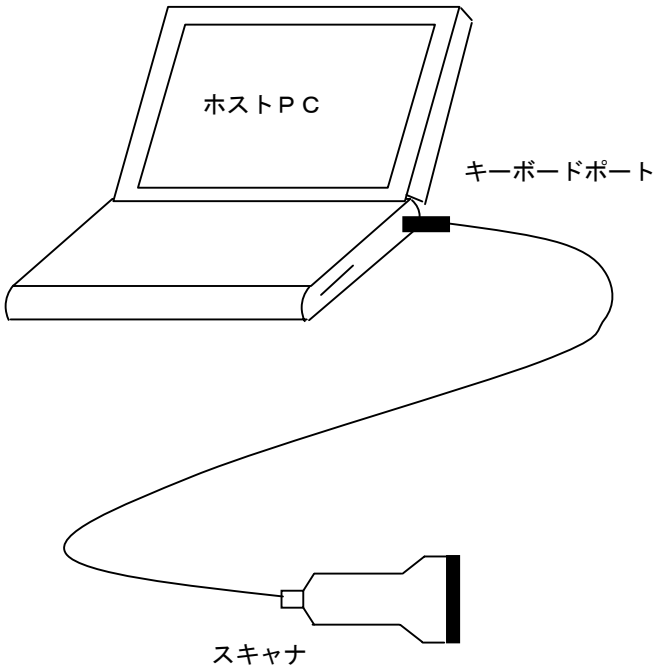
3. スキャナ接続方法



1. パソコンの電源を切ります。
2. キーボードをパソコンから抜きます。
3. デスクトップ用ケーブルとキーボードを接続します。
4. デスクトップ用ケーブルとパソコンを接続します。
5. 接続終了
   パソコンの電源を入れてください。

注意

パソコンの電源を入れた状態でケーブルを接続するのはやめてください。



1. パソコンの電源を切ります。
2. スキャナをパソコンのキーボードポートに接続します。
3. 接続終了
   パソコンの電源を入れてください。

注意

パソコンの電源を入れた状態でケーブルを接続するのはやめてください。

4. 設定パラメータ

4.1 通信条件

先頭コード

なし

◀ Default

ＥＳＣ

ＨＴ（ＴＡＢ）

ユーザ選択１バイト

↓

上のバーコード入力後、6 項「16 進表」で先頭コードの任意データコードを入力ください。

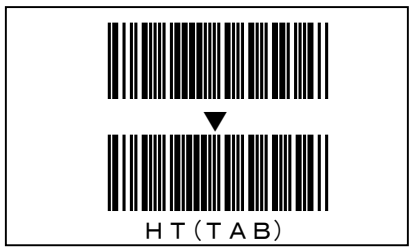
＊＊＊＊＊＊＊ＮＯＴＥ＊＊＊＊＊＊＊

：工場出荷時設定

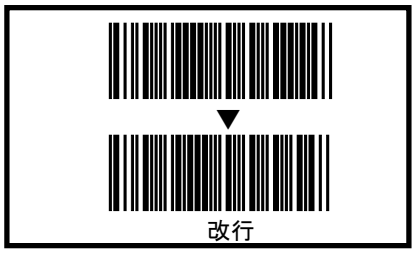
：選択可能設定

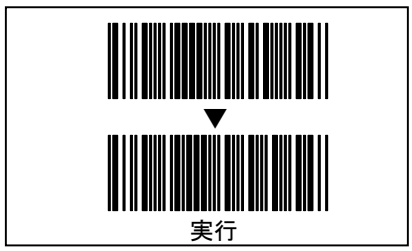
▶ ：デフォルト設定

後頭コード


ＨＴ（ＴＡＢ）

Default ▶


改行


実行

ターミネータ無し

ユーザ選択１バイト

１バイト目の設定
16 進表（６項）で任意データコードを入力してください。
「００」を設定すると後頭コードなしで送信されます。

ユーザ選択２バイト

２バイト目の設定
16 進表（６項）で任意データコードを入力してください。
“ユーザ選択１バイト”の設定時は“００”を入力してください。

4.2 キーボードＩ／Ｆ設定

(1)ＰＣ設定

・ご使用になるパソコンの種類を設定します。外付けキーボードとスキャナを併用する場合は“デスクトップ”に設定してください。

ＰＣ設定

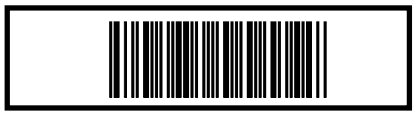
Default ▶

(2)国別設定

キーボードの設定ができます。

国別設定

ＩＮＴＥＲＮＡＴＩＯＮＡＬ



▲
Default

ＪＡＰＡＮＥＳＥ

ＵＳ

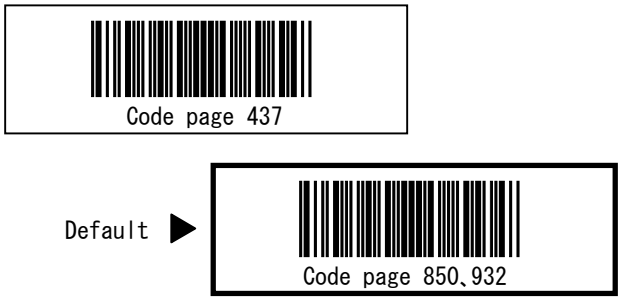
(3)コードページ（JAPANESE、UK 設定時のみ有効）

以下のキャラクタはＰＣのコードページ設定の影響を受けます。各国別設定時に以下のキャラクタが表示されない場合は“コードページ”設定を変更してください。

ＪＡＰＡＮＥＳＥ：“￣”（ＡＳＣＩＩ “7Eh”）

ＵＫ　　：“｜”（ＡＳＣＩＩ “7Ch”）

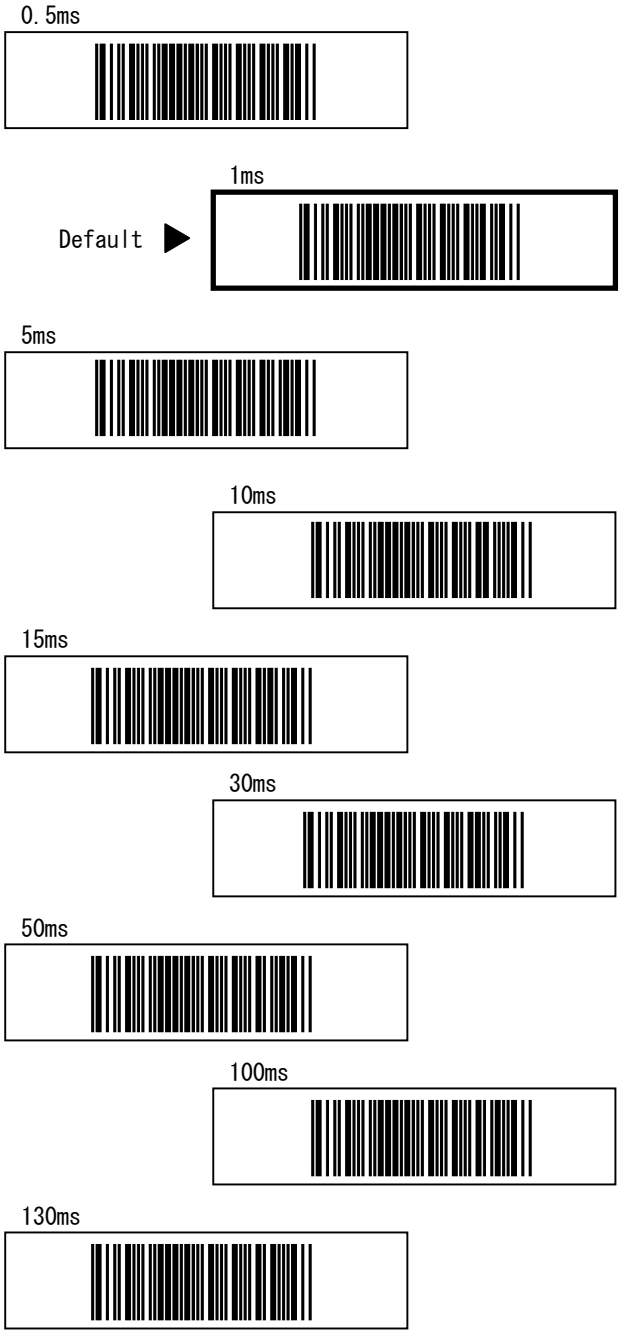
コードページ



(4)文字間ディレイ

・システムとスキャナのデータ転送速度の調整にご使用ください。スキャナの転送速度が速すぎると、文字落ちが起こる場合があります。次のメニューシートの中から完全なデータを転送可能なディレイを選択してください。

文字間ディレイ



(5)キーコードセットの設定

ＳＥＴ２にてＰＣに正常データが送信されない時は、ＳＥＴ１またはＳＥＴ３に変更してください。

キーコードセットの設定

Default ▶

(6)使用ＣＡＰＳ状態

使用ＣＡＰＳ状態

Default ▶

4.3 シンボル種別コードおよび読み取りデータ桁数の付加

シンボル種別コード

⇒ 13 ページへ

Default ▶

種別コード付加位置

◀ Default

シンボル種別コードの設定
［シンボル種別コードを“付加する”時に有効なパラメータ］
（シンボル種別コード表（５項）参照）

シンボル種別コード表の設定１

シンボル種別コード表の設定２

◀ Default
シンボル種別コード表の設定３

ユーザ選択１バイト
シンボル種別コード表で
入力してください。

＊シンボル種別コード表（5 項）により、どのシンボルを設定するか入力し、次にシンボル種別コードのアスキーコードを 16 進表（6 項）で入力してください。

ＥＡＮおよびＵＰＣ以外の
シンボルのデータの桁数

付加する

Default ▶

付加しない

4.4 各バーコードシンボル別のオプション

ＥＡＮおよびＵＰＣの読み取り

◀ Default
サプリメンタルコードを
無視して読み取る

サプリメンタルコード付
のみ読み取る

サプリメンタルコードなし
および、サプリメンタルコ
ード付ともに読み取る

読み取り禁止

ＵＰＣ－Ａのデータフォーマット

◀ Default

ＵＰＣ－Ｅのデータフォーマット

Default ▶

◀ Default

NW－7

読み取り許可 ◀ Default

読み取り禁止

スタート・ストップコード
を送信する ◀ Default

スタート・ストップコード
を送信しない

スタート・ストップコード
の送信をA／B／C／D
とする

Default ▶ スタート・ストップコード
の送信をａ／ｂ／ｃ／ｄ
とする

チェックディジットを照合する

Default ▶ チェックディジットを
照合しない

最小桁数設定
（デフォルト値 03）

最大桁数設定
（デフォルト値 99）

上のラベルを入力後、16 進表（6 項）を用いて 01～99 の範囲で 10 進数で入力してください。

CODE３９

読み取り許可

◀ Default

読み取り禁止

スタート・ストップコード
“＊”を送信する

Default ▶

スタート・ストップコード
“＊”を送信しない

チェックディジットを
照合する

Default ▶

チェックディジットを
照合しない

最小桁数設定
（デフォルト値 01）

最大桁数設定
（デフォルト値 99）

上のラベルを入力後、16 進表（6 項）を用いて 01～99 の範囲で 10 進数で入力してください。

読み取りモード

ノーマル読み取り

◀ Default

CODE39 フルアスキー

Ｉｎｔｅｒｌｅａｖｅｄ ２ ｏｆ ５（ＩＴＦ）

読み取り許可

◀ Default

読み取り禁止

チェックディジットを
照合する

Default ▶

チェックディジットを
照合しない

ラベルによる桁数自動設定

Default ▶

ラベルによる桁数自動設定なし

最小桁数設定
（デフォルト値 04）

最大桁数設定
（デフォルト値 99）

上のラベルを入力後、16 進表（6 項）を用いて 01～99 の範囲で 10 進数で入力してください。

Ｉｎｄｕｓｔｒｉａｌ　２　ｏｆ　５（ＳＴＦ）

読み取り許可

◀ Default

読み取り禁止

チェックディジットを
照合する

Default ▶

チェックディジットを
照合しない

ラベルによる桁数自動設定

Default ▶

ラベルによる桁数自動設定なし

最小桁数設定
（デフォルト値 03）

最大桁数設定
（デフォルト値 99）

上のラベルを入力後、16 進表（6 項）を用いて 01～99 の範囲で 10 進数で入力してください。

ＣＯＤＥ９３

読み取り許可

◀ Default

読み取り禁止

最小桁数設定
（デフォルト値 01）

最大桁数設定
（デフォルト値 99）

上のラベルを入力後、16 進表（6 項）を用いて 01～99 の範囲で 10 進数で入力してください。

ＣＯＤＥ１２８

読み取り許可

◀ Default

読み取り禁止

最小桁数設定
（デフォルト値 01）

最大桁数設定
（デフォルト値 99）

上のラベルを入力後、16 進表（6 項）を用いて 01～99 の範囲で 10 進数で入力してください。

チェックデジット（C／D）送信の設定

NW－7

C／D送信しない

Default ▶

CODE39

C／D送信しない

Default ▶

ITF

C／D送信しない

Default ▶

STF

C／D送信しない

Default ▶

EAN13

C／D送信しない

Default ▶

EAN8

C／D送信しない

Default ▶

4.5 ブザーとＬＥＤの制御

読み取り確認ブザー

◀ Default

読み取りＬＥＤ

◀ Default

読み取り確認ブザー・ＬＥＤの動作タイミング

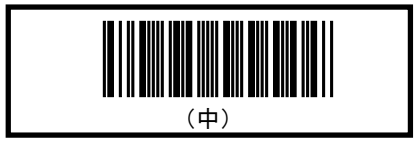
Default ▶

読み取りデータ送信エラー時のブザー

◀ Default

ブザー音階調整

Default ▶



4.6 スイッチモードの設定

本スキャナには以下のスイッチモードがあります。

(1)連続読み取り

スイッチの監視を行いません。

（常時読み取り可能状態です）

(2)モーメンタリスイッチ

スイッチを押している間のみ照明ＬＥＤがＯＮします。

(3)オルタネートスイッチ

スイッチを押し離し動作毎に照明ＬＥＤのＯＮ／ＯＦＦが替わります。

(4)オートＯＦＦスイッチ１

スイッチを押すと照明ＬＥＤがＯＮします。

以下の条件で照明ＬＥＤがＯＦＦとなります。

①バーコードを読み取り、データ送信を完了したとき。

②スイッチを離してから５秒経過したとき。

(5)オートＯＦＦスイッチ２

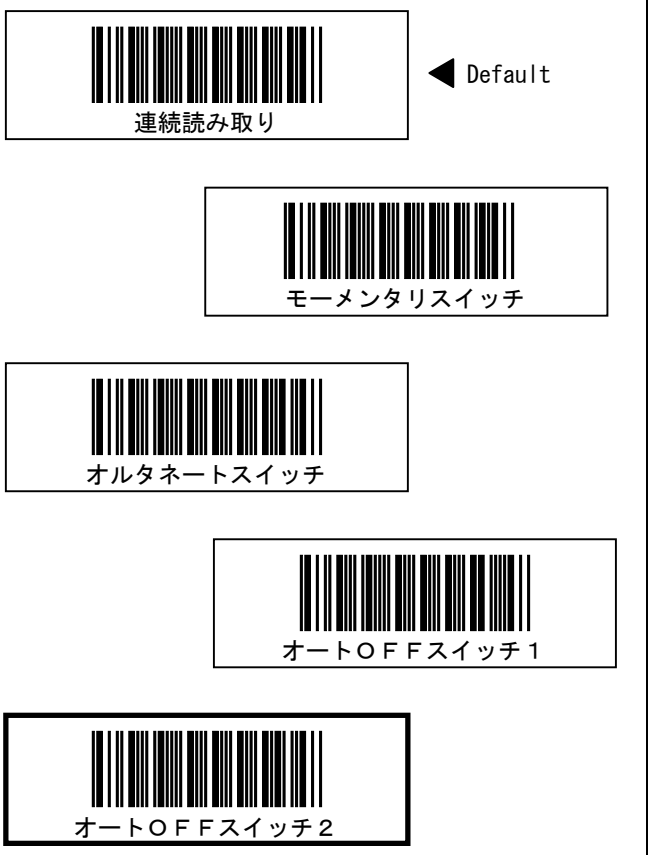
スイッチを押すと照明ＬＥＤがＯＮします。

以下の条件で照明ＬＥＤがＯＦＦとなります。

①スイッチを離してから５秒経過したとき。

②最終読み取りデータを送信してから５秒経過したとき。

スイッチモードの設定



5. シンボル種別コード表

＊ “ユーザ選択１バイト”の設定は、各シンボル毎に１バイトの種別コードをアスキーコードで設定します。
シンボル種別を右表のバーコードで選択後、アスキーコード（7 項）を 16 進数（6 項）で入力してください。
設定できるアスキーコードは００，０１，０２および２０～７Ｅの範囲です。

００入力時…そのシンボルには種別コードが付加されません。
０１入力時…‘ＦＦ’２バイトの種別コードが付加されます。
０２入力時…‘Ｄ３’２バイトの種別コードが付加されます。

ｼﾝﾎﾞﾙ種別	設定 No.１	設定 No.２	設定 No.３	ユーザ選択１バイト
ＥＡＮ－13	Ａ	Ａ	Ｆ	
ＥＡＮ－8	Ｂ	Ｂ	ＦＦ	
ＵＰＣ－Ａ	Ａ	Ａ	Ａ	
ＵＰＣ－Ｅ	Ｅ	Ｃ	Ｅ	
ＮＷ－７	Ｎ	Ｘ	Ｎ	
ＣＯＤＥ39	Ｃ	Ｙ	Ｍ	
ＩＴＦ	Ｉ	Ｚ	Ｉ	
ＳＴＦ	Ｈ	Ｈ	Ｈ	
ＣＯＤＥ93	Ｌ	Ｌ	Ｌ	
ＣＯＤＥ128	Ｋ	Ｋ	Ｋ	
ＥＡＮ128	Ｗ	Ｗ	Ｗ	

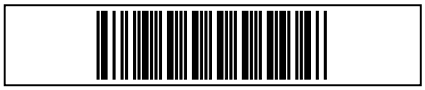
6. 16 進表

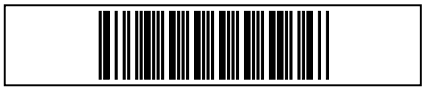
0

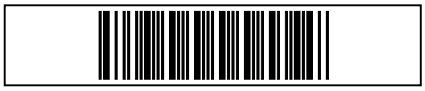
1

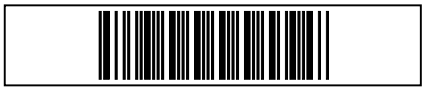
2

3


4


5


6


7

キャンセル

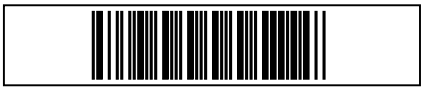
8

9

A

B

C


D

E

F

設定

＊上の 16 進表を使って上位、下位の順で入力し、最後に“設定”を入力します。

＊10 進数入力の場合は 10 の位、1 の位の順番に 16 進数と同様に入力します。このとき、Ａ～Ｆは入力しないでください。

＊途中で“キャンセル”を入力した場合は、その設定項目を最初から再入力してください。

＊“設定”を入力後の“キャンセル”入力は無効です。その設定項目を最初から再入力してください。

7. 任意データコード表

		上位		
		0	1	2
下位	0	NUL	DLE	SPACE
	1	SOH	DC1	!
	2	STX	DC2	”
	3	ETX	DC3	#
	4	EOT	DC4	$
	5	ENQ	NAK	%
	6	ACK	SYN	&
	7	BEL	ETB	’
	8	B S	CAN	(
	9	H T (TAB)	E M	)
	A	L F	SUB	*
	B	V T	ESC	+
	C	F F	F S	,
	D	C R (改行)	G S	−
	E	S O	R S	.
	F	S I	U S	/

3	4	5	6	7
0	@	P	`	p
1	A	Q	a	q
2	B	R	b	r
3	C	S	c	s
4	D	T	d	t
5	E	U	e	u
6	F	V	f	v
7	G	W	g	w
8	H	X	h	x
9	I	Y	i	y
:	J	Z	j	z
;	K	[	k	{
<	L	¥	l	|
=	M	]	m	}
>	N	^	n	~
?	O	_	o	DEL

8. トラブルシューティング

ＰＤＣ－０１８シリーズ　トラブルシューティング

ＰＤＣ－０１８シリーズでのトラブルシューティングについて説明しています。
必要に応じてお読みください。

●ＰＣの電源を立ち上げると“KEYBOARD ERROR”または“ERROR 301”と表示される。

・デスクトップＰＣの場合
　ＰＣ側のコネクタの接続状態を確認してください。
　ミニＤＩＮ（ＤＩＮ）コネクタを奥まで確実に挿入してください。
・ノートＰＣの場合
　ＰＣ設定を“ノート”とします。ＰＣ側のコネクタの接続状態を確認してください。

●デスクトップ用ケーブルで使用時、外付けキーボードからの入力ができない。

・ＰＣ設定を“デスクトップ”とします。
　“ノート”に設定されていると、キーボード側から入力ができません。
・キーボード側コネクタの接続状態を確認してください。

●ラベルの読み取りができない。

・ＰＣ側がキーボード入力可能であることを確認してください。
　ＰＣ側がレジュームモード低消費電力モードとなっている場合は、このモードを解除してください。
・読み取るバーコードラベルが“読み取り許可”設定であることを確認してください。

・“Ｃ／Ｄ照合する”の設定になっている場合は、Ｃ／Ｄ付きのラベルのみ読みとります。
　Ｃ／Ｄの設定をご確認ください。

●スキャナからＰＣへデータ送信時、桁落ちが発生する。

・文字間ディレイの設定を現在の設定内容と異なった値に変更してください。適切な値はＰＣによって異なります。一般的には大きな値にするほど問題は発生し難くなります。
　（例）　１０ｍｓｅｃ　→　３０ｍｓｅｃ
・ＩＴＦおよびＳＴＦラベルはバーコードの構造上、桁落ちが発生することがあります。読み取りラベルがＩＴＦまたはＳＴＦの場合は、最小桁数設定、または読み取り許可桁数の自動桁数設定を行ってください。
　（例１）　読み取りラベルがＩＴＦ　１２桁の場合、読み取り最小桁数の設定を“１２桁”に設定してください。この設定により、桁落ちを防止することが可能です。
　（例２）　読み取り許可桁数の自動設定
　　バーコードメニューブックにて、“ラベルによる自動桁数設定”に設定します。
　　この設定にすることで、電源を立ち上げてから１番目と２番目に読みとったラベルの桁数のみ読みとります。

●スキャナからＰＣへデータ送信時、ＰＣ側のブザーが鳴動する。

文字間ディレイの設定を現在の設定内容よりも大きな値とします。
ＰＣ側ブザーは、ＰＣキーボードバッファのオーバーブザーです。

●大文字（小文字）のデータを読みとったが、小文字（大文字）データが表示される。

使用ＣＡＰＳ状態の設定を変更します。ＰＣ側のＣＡＰＳ状態を確認して、ＯＮ状態でご使用の場合は“ＯＮ”を、ＯＦＦ状態でご使用の場合は“ＯＦＦ”を設定してください。

●読み取り完了ブザーは鳴動するが、ＰＣ画面上にデータが表示されない。

国別設定を変更します。

ＩＮＴＥＲＮＡＴＩＯＮＡＬモードでは、データを認識できないアプリケーションソフトが存在します。これらアプリケーションソフト上でスキャナを使用する場合は、ご使用のキーボードタイプに設定してください。

（例）　ＩＮＴＥＲＮＡＴＩＯＮＡＬ　→
　　ＪＡＰＡＮＥＳＥ

●数字読み取り時に文字化けが発生する。

（例）　バーコードデータ　　１２３４　→
　　ＰＣ画面上表示データ　！”＃＄

ＰＣ側がシフトブレークコード受信時にエラーとなりました。この為、ＰＣ側はシフトキーが押されていると認識していますので、ＰＣ画面上表示データが上記となります。キーボード上のシフトキーを押すことで正常状態に復帰します。

この現象は、バーコード読取りデータ送信中にキーボード上のキーを押した場合等に発生します。スキャナがデータ送信中は、キーボード上のキーを押さないようにしてください。

●送信データの表示がおかしい。

⑴数キャラクタの表示がおかしい場合

国別設定を変更します。

ご使用のキーボードとスキャナ設定が違うと正常データを送信できません。

⑵限定された１キャラクタ“ ¬”または“｜”が表示されない。

コードページの設定を変更します。

日本仕様、またはイギリス仕様のキーボードをご使用されている場合、コードページの設定が正しくないと上記キャラクタが表示されません。

⑶全キャラクタの表示がおかしい場合

コードセットの設定を変更します。

コードセット１とコードセット２が異なると全キャラクタが正常に送信されません。

●ケーブルの状態により読み取り可能となったり不可能となったりする。

ケーブルの断線の可能性があります。弊社担当者までご連絡ください。

●パラメータ設定が行えない、パラメータ変更が有効とならない。

パラメータ変更を行った後は、“設定終了ラベル”を読みとることで不揮発性メモリに書き込まれます。設定終了ラベルを読みとらずに、設定ラベル以外のラベルの読み取りをしたり、電源をＯＦＦすると、変更したパラメータ内容は破棄されます。

●バーコード読み取り時にスキャナから“ピピピッ”と３回ブザー音が鳴る。

・ＰＣ側がキーボードからのデータ送信を禁止している時に、スキャナにてバーコードの読み取りを行うと、エラーブザー（“ピピピッ”）が鳴動します。
ＰＣのキーボードからデータが入力可能であることを確認してから、再度バーコードの読み取りを行ってください。

・ノートＰＣにスキャナを接続する場合、ノートＰＣの電源をＯＦＦせずにスキャナを接続すると、ノートＰＣにスキャナ（外付けキーボード）が接続されていることが認識されない場合があります。この場合、ＰＣは外付けキーボードポートを入力禁止としています。このため、スキャナにてバーコード読み取り時にエラーブザーが鳴動します。ＰＣにスキャナを接続する時は必ずＰＣの電源をＯＦＦしてから接続してください。

●どうしても解決できない時は…

前述のトラブルシューティングにて解決できない場合は、弊社担当者までご連絡ください。
その時には、事前に次のことを確認して担当者にお伝えください。

・スキャナの型名とシリアルＮｏ.（スキャナ下面のラベルに記載されています。）
（例）　ＰＤＣ－０１８－０６Ａ－ＩＰ
ＳＥＲ. No130001

・接続されているＰＣ機種名（メーカ名、型名、デスクトップ型　ｏｒ　ノート型）
（例）①　ＩＢＭ　ＰＣ３００ＧＬ　６２７２－１６Ｊ
デスクトップ型
②　富士通　ＦＭＶ－ＢＩＢＬＯ
ＮＡ－５１５０ＮＡ３／Ｘ
ノート型

・ＰＣ上で使用されているＯＳおよびアプリケーションソフト
（例）　ＯＳ：ＭＳ－Ｗｉｎｄｏｗｓ９５
アプリケーション：ＥＸＣＥＬ９５

・現象（何が起こりましたか？読みとったラベル、画面上に表示されたデータは何ですか？）
（例）①　バーコード（種類：ＣＯＤＥ３９、データ“ＡＢＣＤ”）を読みとると、データ“Ｂ”が表示されない。ＰＣ画面上データ“ＡＣＤ”
②　バーコード（種類：ＩＴＦ、データ“２９１２１０６９”）を読みとるとＰＣ画面上に何も表示されない。バーコードの読み取り完了ブザーは鳴動する。

・再現性（何度やっても発生しますか）
（例）①　１０回読み取り操作を行い、そのうち２回で現象が発生した。
②　何度やっても発生する。
③　再現しない。

9. テストラベル

ＥＡＮ－１３

ＥＡＮ－８

ＵＰＣ－Ａ

ＵＰＣ－Ｅ

ＥＡＮ－１３（２ add on）

ＵＰＣ－Ａ（５ add on）

ＮＷ－７（ＣＯＤＡＢＡＲ） no Ｃ／Ｄ

ＮＷ－７（ＣＯＤＡＢＡＲ） with Ｃ／Ｄ

ＣＯＤＥ３９ no Ｃ／Ｄ

ＣＯＤＥ３９ with Ｃ／Ｄ

Ｉｎｔｅｒｌｅａｖｅｄ ２ ｏｆ ５ no Ｃ／Ｄ

Ｉｎｔｅｒｌｅａｖｅｄ ２ ｏｆ ５ with Ｃ／Ｄ

Ｉｎｄｕｓｔｒｉａｌ ２ ｏｆ ５ no Ｃ／Ｄ

Ｉｎｄｕｓｔｒｉａｌ ２ ｏｆ ５ with Ｃ／Ｄ

ＣＯＤＥ９３

ＣＯＤＥ１２８

10. お問い合わせは

日本システム開発株式会社

本社

〒550-0013

大阪市西区新町１丁目７番２０号

システムギア大阪ビル

TEL 06-4391-9880　FAX 06-4391-9878

営業拠点

東京

〒105-0014

東京都港区芝１丁目１０番１１号

コスモ金杉橋２Ｆ

TEL 03-5730-1200　FAX 03-5730-1201

名古屋

〒460-0002

名古屋市中区丸の内２丁目１０番１９号

市川ビル４Ｆ

TEL 052-221-9388　FAX 052-212-4403

大阪

〒550-0013

大阪市西区新町１丁目７番２０号

システムギア大阪ビル

TEL 06-4391-9881　FAX 06-4391-9879

宝塚

〒665-0045

宝塚市光明町３０番１２号

TEL 0797-74-2201　FAX 0797-74-2211

福岡

〒812-0014

福岡市博多区比恵町３番１７号

フェイズイン博多ビル２Ｆ

TEL 092-432-2130　FAX 092-432-2136

技術的なお問い合わせ先は

サポートデスク

E-MAIL：support@nsd-inc.co.jp

最新情報はインターネットをご覧ください

http://www.systemgear.com/